

所管事務調査報告書

令和4年9月12日

洞爺湖町議会議長 大西 智 様

総務常任委員会
委員長 千葉 薫

本委員会は、所管事務調査のため、次のとおり委員会を開催したので、その結果を報告します。

記

○所管事務調査その1

- 1 調査事項 洞爺湖芸術館の取組みと現況について
- 2 調査日 令和4年7月21日(木)
- 3 出席委員 千葉委員長、今野副委員長、越前谷委員、大久保委員、五十嵐委員
- 4 説明員等 佐野洞爺総合支所長、庶務課 兼村課長、山本主任
- 5 調査結果

洞爺湖芸術館は、町村合併後に旧洞爺村の庁舎を補修整備し、保有していた貴重な芸術作品等を展示する施設として活用しているものである。歴史ある建造物であり、今後も引き続く活用が期待されていることから、その維持管理や取組みについて調査を行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度と令和3年度の入館者数は減少しましたが、特別展やコンサートなどを開催し、利用者の増加に取り組んでいます。

近年は、展示している作品に影響を与える害虫の発生が確認され、防虫と殺虫のため薬剤散布などを毎年実施し、一定の効果はあげているものの解決には至っていません。現在は、昨年度において、害虫とその発生地点が特定できたことから、各専門家からの情報提供を受けるとともに、建物の環境改善の検討に取り組んでいるところである。

洞爺湖芸術館については、町の貴重な財産であることから、現時点で対応可能な措置を当面行いながら、害虫の生体をしっかり調査し、施設の存続に向けた取組を積極的に進めていただきたい。

○所管事務調査その2

- 1 調査事項 ふるさと納税寄附の取組みと現況について
- 2 調査日 令和4年7月21日(木)
- 3 出席委員 千葉委員長、今野副委員長、越前谷委員、大久保委員、五十嵐委員
- 4 説明員等 高橋総務部長、総務課 飯村主査
- 5 調査結果

ふるさと納税寄附は、自治体において貴重な自主財源となっており、各自治体では様々な取組みを積極的に展開し、その財源を地域活性化などに有効に役立てている。

当町においても、ふるさと納税寄附推進の取組みに注力しており、先進地への訪問や広告の拡充、インターネット上の寄附金紹介ページを増やすなどしながら、昨年度は1億4千万円を超える寄附金額となっている。

ふるさと納税寄附は、独自財源を確保する手段であり、子育て、教育、福祉などにおける町独自の取組を今後も引き続き進める上で重要なものとなっており、町の特産品PRにも重要な役割を果たしている。

今後も新たな取組の実施を予定しているとのことであるが、現在担当している職員の業務が増大することが予想されることから、確実な業務の遂行と更なる寄附金額の増額推進、町の魅力アップと行政サービスの安定的な提供が図られるよう専門の職員を配置するなど、積極的な取組が必要である。